

ファースト REVIEW



Zero Image 木製ピンホールカメラ Zero2000 デラックス

●形式=木製ピンホールカメラ ●材質=チーク材、真鍮 ●ピンホール径=0.2mm φ ●イメージサークル=87.5mm ●焦点距離=25mm ●絞り=F138 ●フィルムフォーマット=ブローニー120タイプ (他に35mm判フィルム使用タイプ有り) ●三脚ネジ穴=JIS準拠 ●水準器=有り ●大きさ・重さ=13.3×8.3×4.5cm・約250g ●保証期間=1年 ●価格=31,500円 (135ペーシック:16,800円、135デラックス:31,500円、2000ペーシック:16,800円、6×9ペーシック:29,400円、6×9デラックス:39,900円、4×5デラックス:39,900円ほか有り) ●取り扱い=エー・パワー www.doctor-and.com (2005年4月21日国内取り扱い開始)



スバック上でZero2000の針穴直径は0.2mmでF138相当。焦点距離25mmの対角画角で約130°となっているが、実物を見る焦点距離はもう少し長いように思う。何れにせよ超広角の画像を得ることができる。手前から奥まで被写界深度が深いのがピンホール写真の特長だ。露光時間4秒・三脚・ケーブルリリース使用・フジフォルティアSP



デラックスは、ケーブルリリースを使うとシャッターが上方にはねあげられる。または横方向へ指でスライドして露光する2通りが可能だ



前列がZero 135、後列が6×6cm判のZero2000で左側がケーブルリリースアダプターと水準器を装備した各デラックス



背面の露光ガイドにセットし、F138の位置の数値を読み取れば必要な露光時間を簡単に知ることが出来る。2秒以上の長時間露光時は相反則不軌により露光時間を2倍~12倍にする必要があるが、その目安も説明書に記載されているので安心。左の穴はブローニー用のフィルムカウンター窓



フィルム装填で手抜きすると最初の数枚はフィルムが波うって画像が歪むことがある。しかし、これはこれで中々味があると言えるかも。露光時間4秒・三脚・ケーブルリリース使用・フジフォルティアSP

豊富なライン ナップの木製 ピンホールカメラ

Zero Image社は木製ピンホールカメラを手掛ける香港のメーカー。ラインナップは35ミリ、120×4×5インチまでに対応する5機種11モデルと多岐にわたる。ピンホール写真愛好家の間ではちょっとした人気カメラである。今までは個人輸入するしかなかったが、(株)エー・パワーが日本総代理店となり国内販売を開始した。サポートも国内で受けられるし、日本語の説明書も付属するので、英語が苦手な足踏みしていた人にも手軽に楽しめるようになった。

今回試写したのは6×6cm判専用のZero2000デラックス。120フィルム仕様のカメラは他にも6×4.5と6×9の各画面サイズを内部バイダーで切り替えられるZero69や、更に6×12のパノラマ撮影可能なZero612Fという上位機種もあるが、6×6判に限定しているこのZero2000がシリーズ中では最取り回しが良いやういと言え、因みに35ミリ仕様のZero135は、フィルム巻き戻し機能が無いので、巻き取り側にもパトローネを装着するダブルマガジンにしなければならぬのと、正確な巻き上げ操作にもある程度の慣れが必要だ。

☆Zero135と2000を讀者プレゼントいたします。詳細はP329をご参照下さい☆